

**2017年3月期第1四半期決算**  
**テレフォン・カンファレンスにおける主な質疑応答**  
2016年8月2日、東京

**Q1: 第1四半期が低調だった要因は、会社の個別事情によるのか、市場の状況によるのか。国内海外に分けて教えてほしい。**

A1: 2016年4月に診療報酬が改定されたが、2014年の診療報酬改定時よりも、病院の設備投資へのマイナス影響は小さく、国内市場は回復基調にあると考えている。当社の第1四半期の業績は、前期末の売上集中による反動が大きく、当社個別の要因によるものと考えている。海外では、新興国での通貨安や原油安の影響が想定より大きかった。

**Q2: 国内売上高は、システム商談などの集中により下期に偏ることは理解しているが、2015年3月期以降は、その傾向が顕著になっている。特別な要因や案件があれば教えてほしい。**

A2: 2016年3月期は、上期から引き合いはあったものの、官公立病院の予算執行が期末に集中したことにより下期偏重となった。2017年3月期も下期偏重の傾向は継続すると見ているが、診療報酬改定において9月末までの経過措置が設けられた項目に関連する設備投資などは、上期の売上につながると見込んでいる。

**Q3: 第1四半期の米国の売上高は、現地通貨ベースで一桁台前半の伸びであり、期待より弱かった。今後の見通しはどうか。**

A3: 米国は、前期末の売上高が大きかったため、4月は納品後のアフターサービスなどの対応を中心に行った。5月以降の受注は好調に推移しており、上期では現地通貨ベースで二桁成長を確保できると考えている。

**Q4: 昨年に続き、第1四半期決算発表時に上期業績予想を修正したが、予想の精度が低くなった要因はなにか。また、会社の計画は現実的な数値なのか、目標という意味合いが強いのか。海外売上高の通期計画である現地通貨ベース20%成長は達成可能か。**

A4: 昨年に続き第1四半期末で上期業績予想修正となり、申し訳なく思っている。計画は、営業現場からの情報や引き合いの状況を勘案して策定しており、予想との乖離の要因は、海外では為替、国内では4-5月の受注状況の見込み違いによるものだった。通期の業績予想は、受注が回復基調にあることから据え置きとしている。通期での海外売上高20%成長については、成長ドライバーである米国で上期計画を達成できる見通しであることや、その他の地域でも回復基調にあることから、達成可能と考えている。

**Q5: 収益改善策に取り組むということだが、具体的な内容や金額を教えてください。**

A5: 収益改善策として業務効率改善に取り組んでおり、特に開発業務の効率を高め、不要不急の製品改良の見直しを進めている。第2四半期以降は売上が回復すると見ているため、緊急的なコスト削減は必要ないと考えている。研究開発費は将来の成長につながるため、計画どおり消化するが、減価償却費は設備投資の時期によるため、計画より抑制傾向になるかもしれない。

**Q6: 第1四半期の売上高総利益率は前年同期比で+1.1%ptの改善だったが、要因は国内で粗利率の低い現地仕入品が減少したことによるものか。第2四半期、上期の売上高総利益率はどう見ているか。**

A6: 第1四半期の粗利率改善は、富岡工場、上海工場での生産性向上や、国内での自社品販売への注力による粗利率の低い現地仕入品の減少が要因である。第2四半期の粗利率は、急激な円高を考慮し、前年同期並みか若干低下すると考えている。上期の粗利率は、前年同期並みか若干改善すると予想している。

**Q7: 第1四半期の販管費が、前年同期比3億円程度増加した要因は何か。円高の影響によって、販管費は減少しないのか。**

A7: 第1四半期の販管費は、広告宣伝費などの経費は前年同期よりも減少したが、人員の増加や、マイナス金利の影響による退職給付費用の増加によって、人件費が前年同期よりも増加した。

**Q8: 海外売上高について、消耗品の現地通貨ベースでの伸び率と、消耗品比率を教えてください。**

A8: 第1四半期の海外の消耗品売上高は、円ベースで前年同期比微増となった。消耗品比率は、機器売上が低調だった影響で3割を上回ったが、第2四半期からは機器売上が回復すると予想しており、消耗品比率は低下すると考えている。

以上

#### <ご留意事項>

※本資料は、投資家の皆様へのご参考として掲載しています。説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。